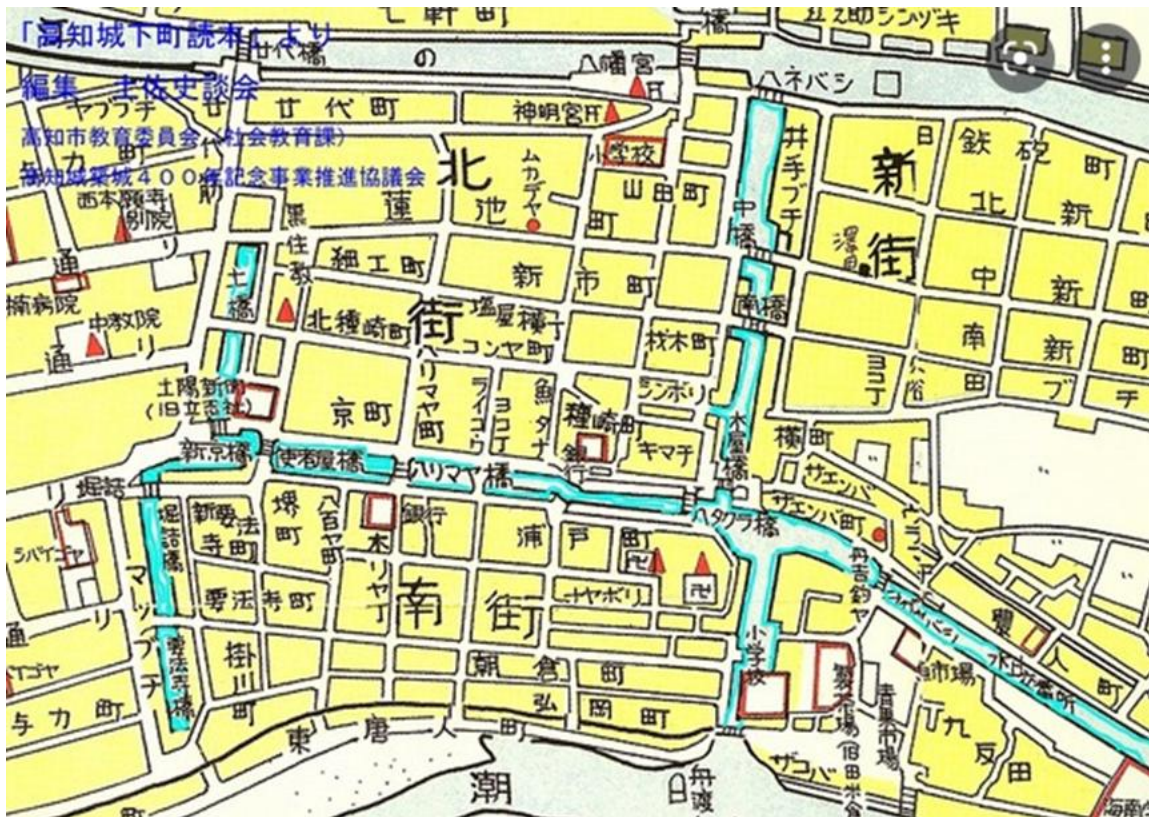




高知は河内と記されていたように、街中に運河が張り巡らされていた。これらの運河は、高知城のお堀として作用していたが、下町では物資の運搬経路としての役割もあった。

- ① 河内は、江ノ口川と鏡川に挟まれる。
- ② 江ノ口川と鏡川をつなぐ水路＝横堀がある（はりまや橋小学校東）。
- ③ 鏡川から分岐、お城下を西へつなぐ水路＝堀川がある。
- ④ ②横堀と③堀川は十字に交わり、その交点に4つの橋が架けられた（→四つ橋）。
- ⑤ ③堀川は現在の中央公園で北と南に分岐。北に分岐した水路（新京橋を架橋）の名残りが高知大丸の西の小道である。その先に土の橋が架けられたが、「つちばし」は、今もそば屋の名前として残っている。そば屋の北の小道では、水路の跡が十数cm盛り上がっている（NHKプラタモリで放映）。堀詰より南へ向かった水路は鏡川に向かう。1906年水路西岸に路面電車が開業、1928年まで運行された。

（古地図は高知城下町読本より引用）

万葉の地学

つきかたぶきぬ・その後

南 寿宏

本会会報第 54 号(2020/12/31 発行)において、柿本人麿の次の名歌を採り上げた。

東	野炎	立所見而	反見為者	月西渡	万葉集 巻一 48 柿本人麿
東の	野に炎の	立つ見えて	かへり見すれば	月傾きぬ	
ひむがしの	のにかぎろひの	たつみえて	かへりみすれば	つきかたぶきぬ	
東の野に朝の光がさしてきた。ふりかえって見れば、月が西の空に移っている。					

その際、最後に宿題を出したことを覚えている方は、おいでだろうか？

問題	人麿この歌群を詠んだのは、旧暦の何月何日か。5 首の内容から論ぜよ。
ヒント	玉かぎる 夕さり来れば み雪降る 安騎の大野に (万葉集 巻一 45) 黄葉の過ぎにし君が (万葉集 巻一 47)
解答・解説は次号で。	

何、覚えてない？そうですね、いちいち、覚えていられない。実は、不肖私も、すっかり忘れておまして、誠に申し訳ない次第であります。

最近、岩波新書から、万葉集に関する興味深い本が出版された。大谷雅夫著「万葉集に出会う (2021/8/20)」である。筆者の大谷氏は国文学者で京都大学名誉教授、古典文学大系や岩波文庫で万葉集を担当された方である。本書は、大谷氏が自身の研究の過程をエッセイ風に紹介したもので、万葉集の研究の一端を覗かせてくれる好著である。

石激	垂見之上乃	左和良妣乃	毛要出春介	成来鴨	万葉集 巻八 1418 志貴皇子
石ばしる	垂水の上の	さ蕨の	萌えいづる春に	なりにけるかも	
いはばしる	たるみのうへの	さわらびの	もえいづるはるに	なりにけるかも	
岩の上を流れ落ちる滝のほとりのさわらびが、萌え出る春になったことだ。					

この歌は、天智天皇の皇子で、桓武天皇の祖父である志貴皇子の作で、万葉集中の傑作と言われている。初句の「石激」の読みが「いはそそぐ」から「いはばしる」に改変された経緯を丁寧に説明しており、それがまた、たいへん面白いので、興味ある方は、ぜひご一読を。ネタバレになるので詳細は記さないが、そこには、つぎのような原文の誤記があったようである。

「垂見」→「垂水」→「垂氷」

さて、「つきかたぶきぬ」に移ろう。

大谷氏は、この歌の二句「野炎」を「のらにけぶりの」と読み、次のように訳する。

東	野炎	立所見而	反見為者	月西渡	万葉集 巻一 48 柿本人麿
東の	野らにけぶりの	立つ見えて	かへり見すれば	月傾きぬ	
ひむがしの	のらにけぶりの	たつみえて	かへりみすれば	つきかたぶきぬ	
東方の荒れ野に立ちのぼる煙を見て、はっと振りかえり見ると月はすでに傾いている。(大谷訳)					

氏は、この説明に本書の一章を充てて、丁寧に解説する。「炎」は火でも光でもなく、煙と。専門家の説に異議を唱える能力はないが、この改変により、本歌は「万葉集最高傑作の一つ」から全くの凡作(失礼)に転落する。「のら」はなかり「のら」は。「野良猫」の「野良」ですよ。

①二句が「のにかぎろひの」の場合

48 の「かぎろひ」は朝の燭光。早朝に月が西に傾くのは、旧の 20 日前後。

②二句が「のらにけぶりの」の場合

48 「のらのけぶり」つまり野焼きが何時ごろのことか、不明なため、時間の限定は困難。

この歌は、長歌 45 と短歌 46-49 からなる。この 5 歌は、時間の順に並んでいるとされている。

45 荒山道を朝越え、夕方に雪の降る大野で野宿の準備をする。

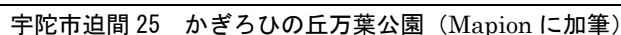
46 昔のことを想うと、寝ることができない。

47 回想（時間情報なし）

48 東の野に夜明けの光（もしくは野焼きの火）が見える。

49 亡き皇子が狩りに出たのは今時分だったなあ。

したがって、「野炎」が朝日であれ野焼きであれ、旧暦 11 月 20 日ごろという推定は成り立つと思われる。いかがであろうか。



大谷雅夫(2021): 万葉集に会う 岩波新書 新赤版 1892

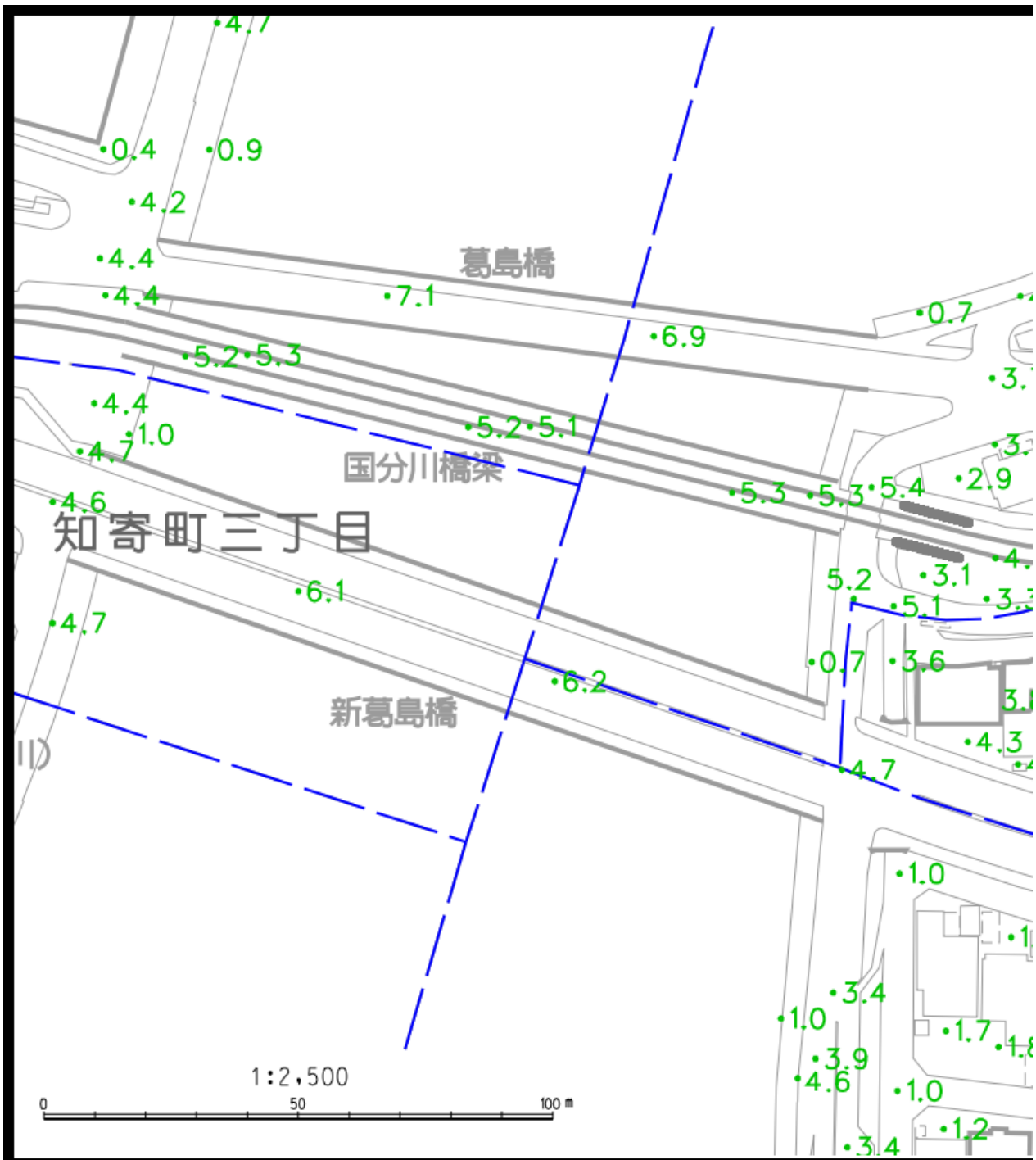
10 TE08 葛島橋東詰

葛島橋東詰電停は、とさでん交通唯一の専用軌道上の、駅っぽい電停。

電停のすぐ南には、標高 20m ほどの葛島がある。葛島は、浦戸湾七島の 1 つ。

浦戸湾七島は、①田辺島 ②大島（現 五台山） ③葛島 ④比島 ⑤洞ヶ島 ⑥竹島。7 番目の島には諸説あるが、浦戸湾内の玉島が有力。高知城のある大高坂山を推す声もある。

葛島は高岡層に属し、チャートを産する。山の表層の大部分はコンクリートで築(つ)かれているので、観察困難。北側の登り口は通行禁止なので、バイパスに面した南側から登る。



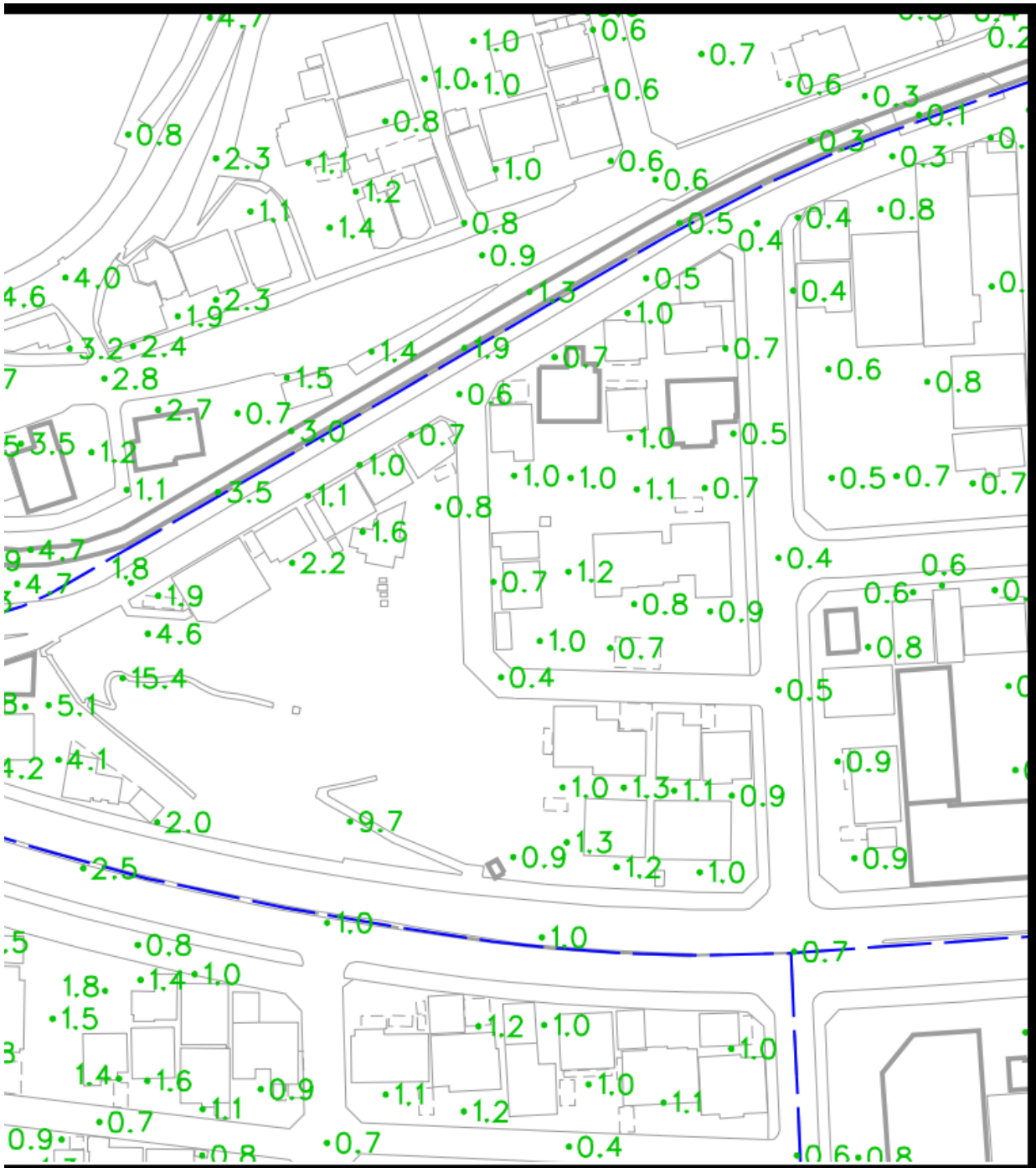
下図は、高知市ホームページに掲載された市内の標高マップである。この図から、葛島周辺の地形について考察する。

(1) 葛島の標高

葛島に三角点は設置されていない。国土地理院の2.5万分の1地形図によると、10mの等高線はあるが、20mはない。したがって、標高は10mと20mの間。しかし、標高マップの15.4mと記された地点からなお数mの登りが観察されることから、かなり20mに近いと推測される。

(2) 電停から東に約100m伸びる専用軌道の勾配

軌道の勾配は、水平距離1,000mに対し、何m上ったかで表される。これを千分率(パーミル(‰))という。碓氷峠を通る信越本線は北陸新幹線開業により廃止されたが、その勾配は66.7‰と、JRグループ最大であった。その他の急勾配は、33.3‰や25‰が多い。これらは分数ではそれぞれ、1/15、1/30、1/40となる。葛島の勾配は、約100mで3mの標高差が観測されるので、33‰程度と推定される。



(3) 旧線観察

電停を過ぎると、電車は国分川橋梁を渡る。この橋は鉄道開通の 1910 年に架橋、堤防はその後建設されたため、橋梁部分が切れていた(下左写真)。

1970 年台風 10 号による高潮被害が発生、高知県は国分川高潮対策事業として防潮堤の整備に着手した。1995 年の阪神淡路大震災をきっかけに堤防の耐震性強化が図られ、鉄道橋が架け替えられることになった。

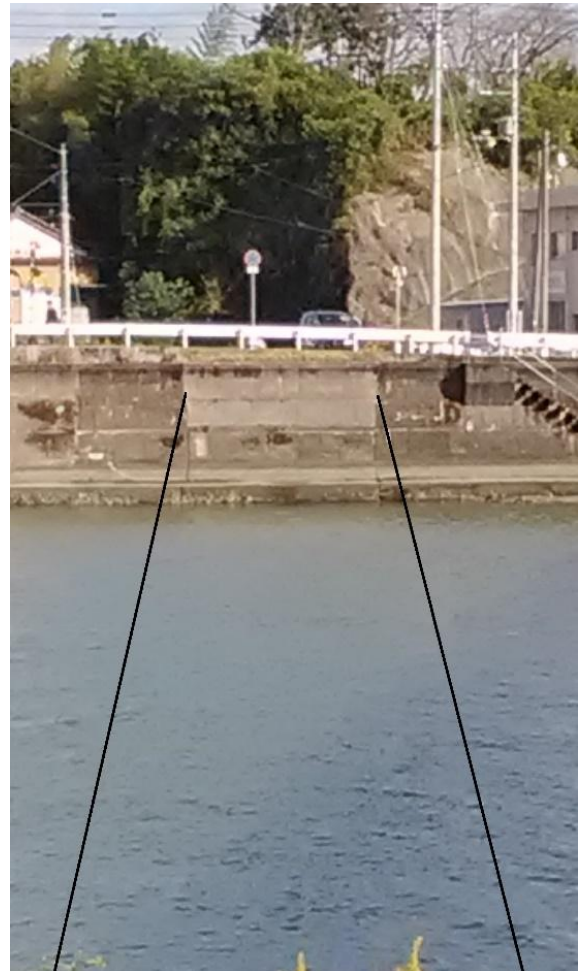
2002 年、橋の上流側に新橋が完成した。新橋は堤防をまたぐ関係で標高が 1～2 m 高くなっており、それに伴って、軌道は数 m 北に移動、標高も高くなった(移設時、乗車体験)。軌道移設後、国分川堤防の切れていた部分がコンクリートでふさがれたが、今でも色が違っているとこが観察できる(下右写真)。

橋梁移設前、こんなことがあった。大津の勤務先から西行き鏡川橋行電車で帰宅途中である。土佐電鉄(当時)の運転士さんが、葛島橋東詰電停でなかなか出発せず、じっと川を見つめる。そして、意を決して発車、鉄橋を渡る。水面を見ると、台風の接近で波浪が高く、かなり荒れている様子である。運転士さんは、川面を見て、「これくらいの波なら川を渡っても支障なかろう。」と判断したものと思われる。乗っている者としたら、生きた気はしなかった。

下の写真は、旧鉄橋撤去前と撤去後を同じ角度から撮影したものである。撮影場所は国分川右岸の歩道橋。この歩道橋は、テレビ高知健康マラソン発足当時のコースである。歩道橋をマラソンランナーが渡るとは、思い切ったことをしたことである。



旧橋を渡るごめん行 803 形
1972 年撮影
25km/h 制限がかかる
見よ、この無防備を!!



旧橋撤去後
2021 年撮影
コンクリートの色の違いが分かる

11 TE03 宝永町

宝永(實際は寶永)は日本の元号の一つ。元禄の後、1704年から1711年までの期間。当時の徳川将軍は五代綱吉。

地名は、1707年の宝永南海地震の際、この地まで津波が押し寄せたことから。

津波の後、平地内に堤防が築かれ、宝永堤と名づけられた。宝永町電停から南北に延びる道がそれ(右図赤線)。今でも、堤防はその東西よりも10cmほど高いことが観察できる。

以前は宝永堤を示す道標があったが、行方不明になっている。

右図中の紫の矢印は多賀神社。山内一豊の土佐入国の際に、近江国多賀の多賀大社から分霊。多賀大社はイザナギ・イザナミを御祭神とする滋賀県一の神社。近江鉄道でのお参りがお勧め。

古事記に記載されているイザナギとイザナミの国生み神話がまた秀逸なので、原文を載せる。会員の便を図り、句読点の入るべきところにスペースを入れる。

エロすぎるので、訳なし。



於是問妹伊邪那美命曰 汝身者如何成 答曰吾身者成不成合処一处在

爾伊邪那岐命詔 我身者 成成而成余処一处在 故以此吾身成余処 刺塞汝身不成合処而 以為生成国土 生奈何伊邪那美命 答曰然善

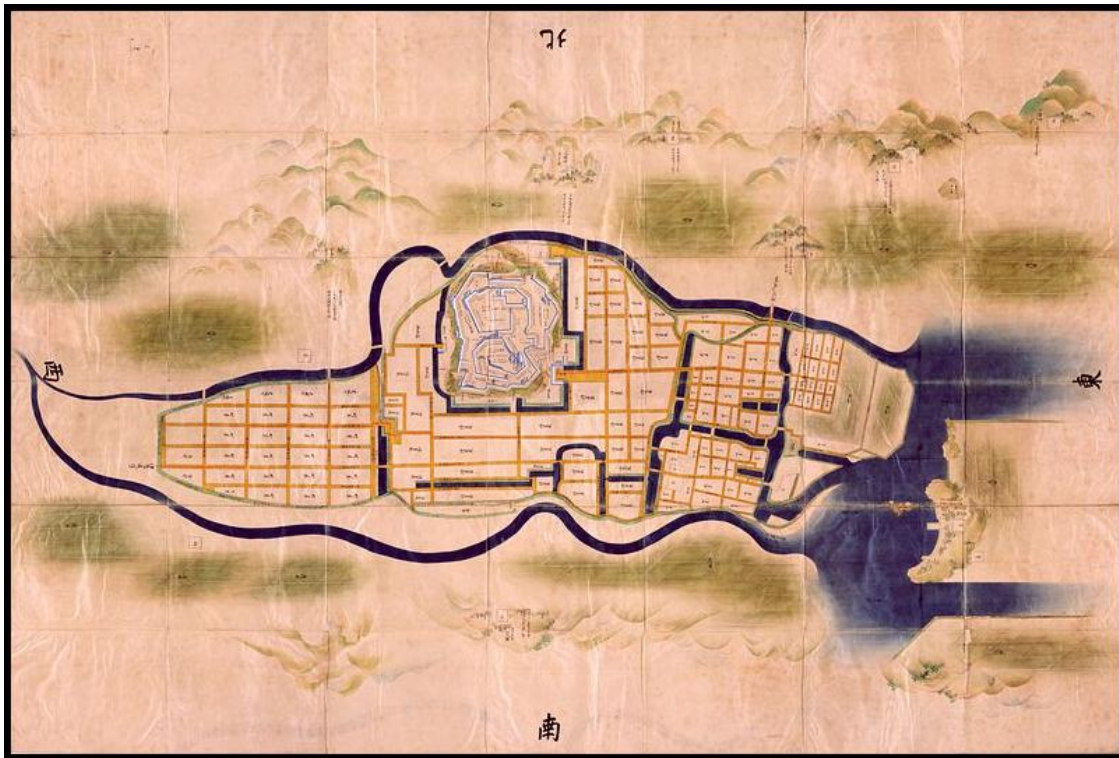
爾伊邪那岐命詔 然者吾与汝行廻逢是天之御柱而 為美斗能麻具波比

12 TE02 菜園場町

菜園場町は長さ 100m ほどの南北の商店街。よさこい祭りの演舞場の一つ。

地名の由来は、土佐藩主の菜園所があったことから。

菜園場町交差点から西に 150m ほど行くと、木屋橋交差点となる。ここに木屋橋電停があった。ここは、中の島からはりまや橋に延びる堀川と江ノ口川と鏡川を結ぶ運河「横堀」が十文字に交わっていたところで、橋が 4 つ架けられていたことから、四ツ橋と呼ばれた。四ツ橋から北へ、江ノ口川につながる横堀は、道路の拡張工事により暗渠化されるが、その引き換えに横堀公園の一部が掘削され、新河道となる。公園は発掘調査中で、出土物多数。詳細は調査にあたった高知県埋蔵文化財センターの発表を待ちたい。



「土佐国城絵図」(1644) 絵図右が四ツ橋

菜園場町・電鉄ターミナルビル前間には、東から木屋橋・八幡通・土佐橋（それぞれ四銀前・小鳥店前・よさこい前）の 3 つの電停があったが、すべて廃止。

とさでん交通後免線 停留所コード一覧（南寿宏・私案）

TE01	デンテツターミナルビル前	TE09	西高須	TE17	鹿児島	TE25	小籠通
TE02	菜園場町	TE10	県立美術館通	TE18	舟戸	TE26	篠原
TE03	宝永町	TE11	高須	TE19	北浦	TE27	住吉通
TE04	知寄町一丁目	TE12	文珠通	TE20	領石通	TE28	東工業前
TE05	知寄町二丁目	TE13	介良通	TE21	清和学園前	TE29	後免西町
TE06	知寄町	TE14	新木	TE22	一条橋	TE30	後免中町
TE07	知寄町三丁目	TE15	東新木	TE23	明見橋	TE31	後免東町
TE08	葛島橋東詰	TE16	田辺島通	TE24	長崎	TE32	後免町

（後免編・完）

8	平成10年11月6日発行 会報第12号より再掲 天気予報で本日の降水確率は0%と聞いたH氏、プリプリ怒っている。なぜだろう。
9	平成11年3月12日発行 会報第13号より再掲 I氏の職場で人事異動があり、男性職員2名にかわって女性職員が配属された。「よし、あと1人で女性100%だ。」とI氏のご満悦であるが、こんなことが起こり得るのだろうか。
10	平成11年3月12日発行 会報第13号より再掲 高校教師のJ氏は、朝の通勤途中にすれ違う高校生の交通マナーが気になって仕方ない。しかし、違反するのは他校の生徒だけだと、ひそかに安心している。彼の考えは正しいか。
11	平成11年7月9日発行 会報第14号より再掲 「赤信号はなぜ赤いの？」 「みんなに長く見られるので、恥ずかしいのさ。」 本当？
12	平成11年7月9日発行 会報第14号より再掲 朝の職場の会話 「いつもより5分遅く家を出たら、渋滞で10分余計にかかっちゃった。参ったよ。」 それを聞いた遅刻常習者のL氏いわく 「いつもより5分遅く家を出たら、渋滞がなく、10分も早く着いたよ。やったね。」 そんなことって、ある？

(解答は次ページ。問題の表現を一部変えています。)



ぶっとび!! ひろちゃんウーマン

8 解	H 氏の家の前は土砂降り。 (実際は、気象庁の降水確率は四捨五入で表す。したがって、5 %未満のときに0 %と言われている。)
9 解	あり得る。I 氏は女性なのだ。 (今は無き雑誌「Oh, FM タウンズ」からヒントを得た。)
10 解	正しくない。J 氏は勤務先の生徒と同じ方向に進んでいるのだから、すれ違うことはない。だから、彼の見ていないところでは、もしかして・・・。 (筆者の体験からヒントを得た。ある年の4月10日ごろ、どうどうとくわえタ●コをする生徒とすれ違ったことがある。それが数日続いた後、急にその子に会わなくなった。一週間後、久々にその子とすれ違うと、坊主頭になっていた。)
11 解	確かに、私たちは青信号よりも赤信号を見る時間の方が長い。しかし、ラッシュ時は渋滞しているので、そうとも言えない。 (メルヘンチック問題でした。)
12 解	ふつうはありえない。なぜなら、いつもより5分遅く出て10分も早く着くというL氏の主張が正しければ、いつもの自分をどこかで追い越したことになるから。きっとその日は、たまたま車が少なかったのだろう。

編集後記

- 最近のマイブーム、それは「ひろちゃん農園」です。
YouTube で「ひろちゃん農園」で検索してください。76 歳(もうすぐ 77 歳)ユーチューバー「ひろちゃん」の抱腹絶倒の面白農作業動画を見ることができます。動画のひろちゃん、時々、飛んでいます。
前ページのイラストはひろちゃんがモデルのひろちゃんウーマンです。チャンネル登録者数 10 万人記念のプレゼントに当選し、いただいたステッカーのコピーです。倍率は 1071/100 で 11 倍でした。
なお、農園は、高知市の布師田小学校から 300m ほど南にあるようです。パワフルなりアルひろちゃんに会えますよ。



- 長い長い夏が終わり、めっきり涼しく、いや、寒くなりました。
これはもう、冬です。日本の天気から秋が消えました。四季ではなく三季です(さすがに春はあるようです)。
ご自愛ください。
- 在所隕石 里帰り展示会
10/31 日～11/19 金 8:30～17:00 (休み: 土・日・祝日)
香美市役所香北支所ロビーにて入場無料
(問い合わせ先 香美市香北町美良布 1097 香北支所 0887-52-9288)

発行：高知地学研究会
hirot@ark.ocn.ne.jp
(南 寿宏)